

2007年7月1日

- [ルート] 鉛山峠登山口→白地山→大川岱
 [参加者名] 総括 Y.NARA 他 23名 FHC9名 一般 15名 合計 48名
 [コースタイム] 中央市民センター6:00→青森IC6:30→小坂PA(15分)～小坂IC7:36→
 鉛山峠登山口 8:05～8:19→白雲亭展望所 8:50～8:55→白地山 12:10～12:41
 大川岱ふるさとセンター15:26→虹の湖公園 16:06～16:22→青森IC16:53→
 中央市民センター17:27

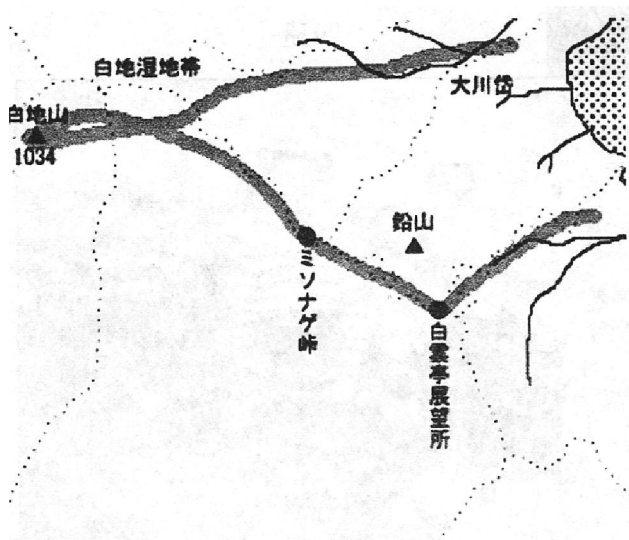
[山行記録] 天気 曇り～晴れ

総勢 48名、4班に分かれ、1班はM.Kさんからの諸注意、メンバー紹介後、鉛山峠登山口を出発。自称「晴れ女」ゆえ、雨具は不要と勝手に決める。マイナスイオンを一杯浴び心地良い。咲いている花は少ないけど、花の終わった「つばめおもと」は存在感がある。大きくなった竹の子に目線がいく。先頭からやや遠慮がちの歓声があがる。鉛山峠。右側に少し霧に包まれた十和田湖が眼下に。更に進むと白雲亭展望所。霧も晴れ絵葉書のような十和田湖は素晴らしいの一言、ここで小休止。少しずつ登山道らしく何回かUPダウンを繰返し、言葉少なくなりがち。「ブナ」や笹の林を抜けるとミソナゲ峠。くずれおちる淵があり、リーダーから一番の難所に入るとの声。ゆっくり一步一步、慎重に無難に通過。登ったり下ったりきつはないが長い。急登を登ると 997m 分岐。白地山展望台。ザックを下ろししばし十和田湖眺め一息つくが、そんなに広くないので追われるように腰を上げ、左に曲がってかん木を抜けるといよいよ湿原。木道が続く左右見渡すとウラジロヨウラク、ワタスゲ、ちらほらハクサンチドリ。ギボウシ、つぼみのキンコウカ。木道が切れ、やや登ると山頂。一等三角点にタッチ。360度の展望。十和田三山。四角岳。八甲田。弁当を広げ記念写真におさまり下山。木道沿に「こけもも」を見つけた時はかわいらしさに見いってしまいました。

これ以上乾燥しないようお願いつつ 997m 分岐で十和田湖を見納め。左に曲がってやや急斜面が続く意味のなさそうな階段。湯の沢分岐。大川岳中間地点。林の中にギンリョウソウが多い。ショウキランを初めて見ました。何回か沢を超え登山道沿に「みず」だらけ、川のせせらぎ、鳥のさえずりに耳をかたむけながら登山道から林道に抜け、大川岱ふるさとセンターに到着。

暑くもなく虫にも刺されず皆いい顔でした。

報告 S.TANAKA



2009年10月15日

[ルート] 北ノ又林道⇄大日影山
 [参加者名] H.NAKAMURA
 [コースタイム] 自宅 8:37 → 碓ヶ関IC 9:28 → 矢立林道入口 9:36 → 北ノ又林道分岐 9:46 → ゲート 9:49 → 北ノ又林道分岐 10:05 → ゲート 10:15 → 大日影山 2.5Km 標識(北の又林道終点) 10:24 → ガレ場 10:35 → 水場標識 11:09 → 縫戸山分岐 11:24 → 反射板 山頂標識 11:35 ~ 11:37 → 広場 11:41 ~ 11:43 → 縫戸山分岐 11:47 → 大日影山 2.5Km 標識(北の又林道終点) 12:32 → 北ノ又林道分岐 12:52

[登山口までのアプローチ、登山口の様子]

矢立林道入口がわかりにくい。林道は途中、狭いところもあり。北ノ又林道分岐は地図をよく確認すること。

[山行記録]

影温泉入り口を過ぎてすぐに矢立林道に入り、北ノ又林道分岐からゲートまで進む。北ノ又林道のゲートに伐採作業中のため立入禁止の看板があるので、林道分岐まで戻って車を置きそこから歩く。ゲートには作業中の車2台駐車しており、まわりからはチェーンソーの音が聞こえる。

地図を確認しながら進んでいったが、林道終点が地図と違って、登山道も資料とはかなり違っている。途中、ガレ場があったり、踏み跡がはっきりしないところもあるが良く見ると道はわかる。

上りの時藪から獣の唸り声がし、山鳥にも驚かされる。縫戸山分岐を過ぎて大日影山へ向かう。

手前のピークに反射板があり山頂の標識があったのでここから引き返したが、地図上の山頂はもう一つ先のピークだった。残念。

下りは来た道に戻るが、700mあたりからの紅葉がきれいだった。水場を探したがただの沢かな？ 途中太いミズがあり、山菜とりが入っているようだ。下りの登山口で2頭のカモシカに威嚇される。

ゲートで伐採作業の人たち4人がいたので挨拶したが無視された。

道は快適な登山道と踏み跡程度の道あり

報告 H.NAKAMURA

